

緑光

RYOKKOU

No.73 2019年3月

株式会社日東社



株式会社東京ゴム製作所



M^{ごあいさつ}essage

藤沢市企業等環境緑化推進協議会
会長 平澤建夫
日本精工株式会社藤沢工場

陽の光が次第に確かになり、暖かさを感じられる頃になりました。会員の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成30年度も「緑ゆたかな街づくり」をめざして、緑化技術講習会等で研鑽を積み、また快適な生活環境づくりの一助として「緑と花いっぱい集い」に協力等を進めてまいりました。1年間の活動を無事完了させることができ、こうして緑光を発行できましたこと、会員の皆様のご協力のおかげと御礼申し上げます。

企業が環境保全にあたるのは社会的責任ですが、根底にあるのは自然への慈しみであり、これは緑を大切に思うことに繋がります。

昭和40年代の環境に対する関心の高まりから昭和49年4月に58社で発足した当協議会は、今年で45年目を迎えます。

先達のご努力の積み重ねに感謝しつつ、我々を取り巻く状況の変化に沿う必要もあります。昭和から平成を経て、環境へのアプローチは原点かつ本質へと向かい、昨年名称を工場等から企業等に変更したのは、そうした変化への適応のためでもありました。

今後とも藤沢の緑に関わる活動に更にいっそうの努力を続けてまいりたいと存じます。

平成の次の時代のために、藤沢市当局のご指導と、会員皆様の益々のご支援とご協力を賜りますようお願い致します。



第45回総会

General meeting

藤沢市企業等環境緑化推進協議会の第45回総会を平成30年4月12日(木)、湘南クリスタルホテルにて開催いたしました。当日は会長の挨拶のあと、来賓の宮治正志藤沢副市長、藤沢市みどりいっぱい市民の会杉下由輝会長からご祝辞をいただき、議事に入りました。平成29年度の事業報告、決算報告及び監査報告が承認され、並びに平成30年度役員改選、事業計画及び収支予算が承認され、無事に審議を終えることができました。

総会終了後には懇親会を開催し、会社紹介や自己紹介に始まり、様々な情報交換を行なって和やかな時間を過ごしました。

(事務局 記)



●平成30年度事業報告

事業	内容	実施日・場所
総会	第45回総会	平成30年 4月12日(木) 湘南クリスタルホテル
役員会	全体役員会	平成31年 1月24日(木) 湘南NDビル8階 8-1会議室 平成31年 3月 7日(木) 湘南NDビル8階 8-1会議室
ブロック会議	ブロックごとの座談会	平成30年12月12日(水) 湘南NDビル8階 8-1会議室
緑化技術講習会	都市の緑地の保全及び緑化の推進に関する各種制度の概要及び取組事例等	平成30年 7月24日(火) 藤沢市役所本庁舎4階 4-4会議室
機関誌発行	「緑光」No.73号	平成31年 3月末
視察見学会	緑化優良工場として平成15年に経済産業大臣賞を受賞した工場の環境への取組みや緑地の保全について	平成30年10月16日(火) 株式会社ヤクルト本社富士裾野工場
第37回藤沢市緑と花いっぱい推進の集い記念事業グリーンキャンペーン	藤沢市みどりいっぱい市民の会・藤沢市・当協議会の共催による花苗の配布とみどり基金の募金活動	平成30年10月13日(土) 湘南台駅地下自由通路
第37回藤沢市緑と花いっぱい推進の集い	藤沢市みどりいっぱい市民の会・藤沢市・当協議会の共催による緑化推進大会	平成30年11月17日(土) 藤沢市民会館大ホール
湘南グリーンコネクション2018 (※緑化技術講習会講義部門)	(公財)かながわトラストみどり財団の主催による湘南地区の緑化推進	平成30年11月 4日(日) 茅ヶ崎市コミュニティホール

●平成30年度 藤沢市企業等環境緑化推進協議会役員

平成30.4～平成31.3

役職	事業所名	ブロック	代表者	担当者	事業担当	
会長	日本精工(株)藤沢工場	C	石川 進	平澤 建夫	かながわトラスト	
副会長	東京ラヂエーター製造(株)	B	林 隆司	山路 秀樹	ブロック	かながわトラスト
副会長	アズビル(株)藤沢テクノセンター	C	宮崎 英樹	中野 隆行	集い	機関誌
会計監査	(株)神戸製鋼所藤沢事業所	C	永田 学	高橋 節夫	講習	機関誌
会計監査	いすゞライネックス(株)藤沢事業所	A	井上 賀雄	佐藤 博之	視察	集い
会計	NOK(株)藤沢事業場	B	長澤 晋治	伊勢田 茂	機関誌	集い
幹事	オイレス工業(株)藤沢事業場	A	宮崎 聡	泉谷 忠幸	講習	機関誌
	いすゞ自動車(株)藤沢工場	A	井上 利朗	近藤 光吉	視察	機関誌
	A K S 東日本(株)	A	重松 拓也	長谷川裕一	視察	ブロック
	(株)ヤクルト本社湘南化粧品工場	C	武藤 大介	大林 緑	機関誌	講習
	(株)荏原製作所藤沢事業所	B	白樫 充彦	大羽 宏	視察	ブロック
	東レ(株)基礎研究センター	C	吉川 正人	竹内 澄人	集い	講習
	プレス工業(株)藤沢工場	B	小川 敏宏	高井 美来	集い	ブロック
	池上通信機(株)システムセンター	C	小島 睦	小野寺純一	視察	ブロック
	ナショナル・ベンディング(株)湘南第一営業所	A	藤山雄一郎	白井 義治	視察	講習
	シロキ工業(株)藤沢工場	A	小泉 正和	秋間 知幸	集い	ブロック
ミネベアミツミ(株)藤沢工場	C	浅川 英男	長谷川拓夫	機関誌	講習	

事務局 藤沢市役所みどり保全課

集い…………… 推進の集い運営委員

視察…………… 視察見学会

機関誌…………… 機関誌発行

講習…………… 緑化技術講習会

ブロック…………… ブロック会議

かながわトラスト… (公財)かながわトラストみどり財団



緑化技術講習会

Greening technology course

平成30年度の緑化技術講習会は、以下のとおり開催しました。

日 時：平成30年7月24日(火)

15時00分～16時00分

場 所：藤沢市役所 本庁舎 4階 4-4会議室

参加者：協議会会員11社、12人

藤沢市役所緑化関連部署職員、
長久保公園都市緑化植物園職員

講習名：都市緑地法に基づく都市の緑地保全及び
緑化推進に関する取組について(国土交通省出前講座No.291)

内 容：都市の緑地保全及び緑化推進に関する各種制度の概要及び取組事例等についての説明

講 師：①国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 課長補佐 和田 慎太郎 様

②国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 緑地環境室 緑農環境保全係長 藤井 彰俊 様

平成29年6月の改正都市緑地法施行により市民緑地認定制度が創設されることなどから、国土交通省の「出前講座」は、平成30年9月3日時点で292件あるなかで、特に私たちに関連がある「都市の緑地保全及び緑化推進に関する取組について」の講座を藤沢へお越しいただき開催していただきました。

ご講義の内容ですが、大綱としては、1. 地方公共団体関連の都市緑地法の概要、2. 市民緑化認定制度のご紹介、3. 制度活用のイメージ、4. 認定手続きの流れ・支援制度及び5. みどり法人(緑地管理・緑地推進法人)の5つの題目がありました。

このような趣旨・内容で行われたこの講習会(講座)は、各種制度の概要説明や事例紹介を交えた説明で、大変にわかりやすく、今後の緑化活動に役立つ有意義な時間を過ごす事が出来ました。

この講習会(講座)を準備していただきました藤沢市役所みどり保全課の方々と長久保公園都市緑化植物園の方々のご苦勞とご尽力に敬意を表すとともにお礼申し上げます。

最後にみなさまも一度、国土交通省ホームページ「出前講座」をご覧になられると興味深い講座があると思います。

(神戸製鋼所 藤沢事業所 高橋 記)



グリーンコネクション

Green connection

平成30年11月4日(日) 茅ヶ崎市コミュニティホールにて湘南グリーンコネクション2018が開催されました。

講演内容は「生物多様性緑化の勧め」(講師：倉本宣氏)で、緑化を行う際に「生物多様性」という新たな考え方を取り入れていくことについてご説明いただきました。

「種とは何か」「遺伝子」といった専門的な話から「外来種問題」「地域性種苗」といった、すぐ実践できそうな話題まで幅

広くお話しいただきました。藤沢市は今年度「藤沢市生物多様性地域戦略」を策定しましたが、今後は「生物多様性」の考え方をあらゆる場面で反映していく必要性を、改めて感じさせてくれる有意義な講演でありました。

(事務局 記)





視察研修会

Inspection excursion



平成30年10月16日(火)本年度の視察見学会を会員企業12社13人と事務局3人の計16人が参加し、静岡県裾野市にある株式会社ヤクルト本社様の富士裾野工場を見学しました。当日は、曇り空で時折晴れ間が射し、最高気温21℃と多少汗ばむ陽気の中、約2時間バスに揺られ目的地を目指しました。目的地である富士裾野工場は、周りを緑に囲まれた自然豊かな場所に立地しており、マイナスイオンがもたらす恩恵を享受出来る、人にも優しい工場です。目的地に到着後、すぐに目に付いたのが工場内の木々や緑地等が隔々まで手入れされている光景でした。広大な敷地で、かつ多様な植物をキチンと手入れされている様は圧巻でした。維持管理には非常に労力がかかりますが、環境や緑化保全の観点から是非継続していただきたいと思いました。ただ、昆虫対策として大木を伐採しなくてはならないことを聞き、非常に残念でなりません。木を切らなくても済む、そのような日が訪れることを切に願っています。



建物に入り、広報の方による企業説明を拝聴し、ヤクルト様の企業理念や商品開発の苦勞、社会貢献・今後の取り組み等多岐に渡る説明を受けました。余談ですが、説明を聞きながら「ジョア」(しかも季節限定のオレンジ味)を試飲し、美味しくいただきました。この後 生産工場へと進み、商品が出来るまでを見学しました。一番感じたのは、工場の生産ラインがとても清潔であることでした。人が口にする飲料を生産している工場ですので当たり前なのでしょうが、実際に目の当たりにすると「すごい」の言葉しか浮かびませんでした。この光景を見て、安心してヤクルト商品を口にすること出来ると感じました。この後、工場の外に出て廃液処理施設を見学し、廃液処理には6種類の処理槽を通して処理されると説明を受けました。中でも中間の処理槽では、微生物の力で処理をすることから微生物が棲みやすい形状である「ヤクルト」の空容器を沈め廃液処理を行っているとのこと。自然や環境に配慮した、素晴らしい取り組みだと思いました。

2時間という時間制限であった視察見学会ですが、様々な取り組みを見聞きし、環境と緑化保全の大切さを改めて学べた非常に有意義な時間でありました。

最後になりますが、今回の視察見学会にあたり事務局及びヤクルト本社様には多大なるご尽力を賜り誠にありがとうございました。本紙面をお借りし御礼申し上げます。

(いすゞライネックス株式会社藤沢事業所 佐藤 記)



ブロック会議

Block conference

平成30年度のブロック会議は、平成30年12月12日(水)湘南NDビル8階8-1会議室で開催されました。議題は、本年度の事業経過報告、予算執行状況、事業に対する意見交換等についてで、出席した会員が3ブロックに分かれて、本年度実施した事業に対して意見交換を行いました。その後、各ブロックの代表者が意見交換内容を発表し、次年度の各事業に反映することとしました。各ブロックにおいて、盛んに議論され、発表では様々な意見が挙がり、とても有意義な会議となりました。



(事務局 記)



グリーンキャンペーン

平成30年10月13日(土)



第37回藤沢市緑と花いっぱい推進の集いの開催を記念し、湘南台駅地下自由通路にてグリーンキャンペーンを行いました。

当日は、藤沢市、みどりいっぱい市民の会、海の女王、海の王子及びふじキュンとともに、往来する人達に緑化推進PRチラシ1,000枚と花の苗1,000株などを配布し、藤沢しみどり基金の募金活動を行いました。また、アトラクションとして、「鶴沼正栄会」様による笛太鼓にあわせた踊りも披露されました。

(藤沢市緑と花いっぱい推進の集い運営委員会事務局 記)



Greening Campaign

すすいしんのつとめ

推進の集い

平成30年11月17日(土)

緑の重要性を改めて見直すとともに、藤沢の緑を守り育て、市民による「緑と花いっぱい運動」をさらに推進していくために開催している推進の集いも今回で37回目を迎え、約900名の来場者でにぎわう中、藤沢しみどりいっぱい市民の会、藤沢市及び当協議会の3者共催により藤沢市民会館大ホールにて開催しました。

主催者、委員長、来賓あいさつの後、平成30年度「緑と花のまちづくり」の各表彰(緑と花いっぱい功労者・ポスターコンクール入賞者・学校花だんコンクール入賞者等)が行われました。

表彰式終了後のアトラクションでは、神奈川県警察による防犯漫才と相州 神童太鼓による和太鼓の演奏で大いに盛り上がりました。

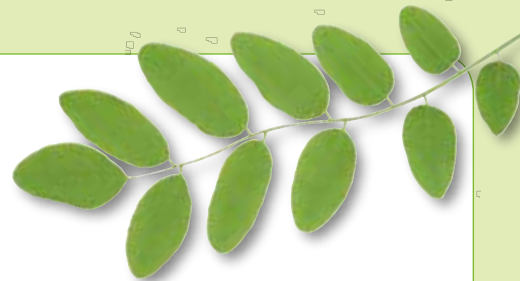
最後にお楽しみ抽選会が行われ、ここでは当協議会会員各位が寄付した景品を中心に、来場された方々へ当選景品をお渡しし、本式典を盛会裡に終了いたしました。

今回も会員の皆様より数多くの景品・賞品の寄付をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

(藤沢市緑と花いっぱい推進の集い運営委員会事務局 記)



Member Introduction



株式会社 東京ゴム製作所

- 事業所名 株式会社 東京ゴム製作所
- 所在地 藤沢市菖蒲沢48
- 代表者 代表取締役 渋谷 良二
- 事業内容 工業用ゴム製品製造

明治から大正へ変わる1912年東京深川で創業し、1923年の関東大震災を機に東京墨田に移転、現在の菖蒲沢には52年後の1964年に工場を構え操業を始める事になりました。それ以降今日までの55年間、緑豊かな菖蒲沢で主にトラックのゴムホース部品の製造に携わり、地域に根づいた経営をモットーにしてきました。物流の主役であり輸送の「足」となるトラックの部品製造に携われることは当社の誇りであり、輸送機部品メーカーとして信頼ある「品質第一」を心掛けています。近年では排出ガス規制等に対応したシリコン製ホースの開発に尽力し、ヒト・社会にやさしく、環境に配慮した製品開発に全社を挙げて取り組んでいます。明治～大正～昭和～平成そして次の時代へ、今後もこの藤沢の地で社会・環境に貢献できるよう取り組んでいきます。



インタークーラー ホース



エア ホース



ヒーター ホース

株式会社 日東社

- 事業所名 株式会社 日東社
- 所在地 藤沢市葛原1692
- 代表者 代表取締役社長 伊関 聡
- 創業 昭和21年2月10日

当社は昭和21年に東京都大田区にて表面処理事業をスタートさせ、昭和44年に藤沢へ全社移転してまいりました。

車両部品事業は、湿式の電気めっき法により自動車外装部品へのニッケル・クロム処理を施す受託加工を行っております。加工品は主にトラックのバンパーやミラステーで、全長70mのめっきラインにより加工を行い、処理槽間の移動はICキャリア装置で自動化されています。創業以来70年にわたり当社が培ってきた表面処理技術を駆使して、お客様のニーズに応じております。

基板材料事業は、親会社である住友金属鉱山株式会社との共同事業により液晶パネル向け基板材料の製造を行っております。無電解めっき法等で築いてきた乾式による表面処理加工技術に基づき、高画質化が進む液晶モニターに求められる品質を提供し、世界の液晶モニター市場に広く貢献しています。

緑化の取り組みのひとつとして、平成23年に従業員用駐車場(1,500㎡)を全面芝生としました。緑化ブロックを入れると芝の根付きが悪く長持ちしづらいと庭師から聞いておりましたが、今現在も暖かくなり始めると芝の緑色が敷地全面に広がり、春の訪れを感じる事が出来ます。今後もこの状態を維持し続け、少しでも環境保全に貢献できるよう努めてまいります。



公園紹介

いなり 稲荷の森



稲荷の森は、引地川左岸の斜面の一角にあります。以前は畑として耕作されていましたが、1990年代初頭から、市民と行政とが協力して、クヌギ、コナラ、シラカシ、スダジイなどの苗を植樹してきました。植樹から25年以上経過した現在、多くの樹木が高さ20m近くに生長し、植樹当時の空き地は見違えるような森になりました。散策に訪れる人も多いこの森を、ふるさとの森として藤沢本来の自然が生きる森に育てようと、NPO法人や企業の活動の助けを得て、森の手入れの試行錯誤が続いています。

そのひとつが台場切りという手法です。ひよろひよろと育った樹木を切り戻して新しい芽を吹かせ、木や森が若返ることを促します。また落葉かきは、厚く積もった落葉を適度に取り除き、林床の植物の芽生えや生育を助けるための作業です。森の土を踏み固めないように、必要な場所にはカントリーヘッジや丸太のガードを作りました。カントリーヘッジとは、森の手入れで出た幹や枝を材料とした柵のことで、昆虫や小動物がすみかや隠れ場所として利用することができます。巣箱をかけて鳥を呼び、生きものが集まるように草地の管理も始めています。

稲荷の森で続けられている手入れが、森の自然を徐々に育てています。

藤沢市自然生態専門員 原田敦子



アクセス

所在地：藤沢市稲荷

- JR辻堂駅北口
[辻28] [辻33]
【舟地蔵】下車
徒歩17分
- JR藤沢駅北口
[藤34]
【天神社前】下車
徒歩8分
- 小田急湘南台駅西口
[藤34]
【天神社前】下車
徒歩8分

会員募集中!!!

藤沢市企業等環境緑化推進協議会では、会員企業を募集しています。

私たちと一緒に“緑あふれるまちづくり”活動に参加しませんか？

加入企業等45社。「緑化技術講習会」「視察見学会」「緑と花いっぱい推進の集い(イベント)」の開催を通じて緑化意識の普及・向上・啓発に努めています。

編集後記

今年も桜の便りが各地から舞い込む季節となりました。

機関紙「緑光」73号を皆様にお届けできたことを嬉しく思います。

活動としては、緑化技術講習会では都市の緑化保全及び緑化推進に関する取組についての講習をして頂き、湘南グリーンコネクションでは生物多様性緑化の勧めを講演して頂き、視察見学会ではヤクルト本社富士裾野工場にお邪魔して環境への取組みや緑地の保全について見学をさせて頂きました。藤沢市緑と花いっぱい推進の集いへは従事協力を行いました。機関紙を読んで頂いて次回は参加してみようかと思って頂ければ、編集委員一同幸いです。

(NOK株式会社藤沢事業場 伊勢田 記)

発行者：藤沢市企業等環境緑化推進協議会

編集委員：NOK(株)藤沢事業場、アズビル(株)藤沢テクノセンター、
(株)神戸製鋼所藤沢事業所、オイス工業(株)藤沢事業場、
いすゞ自動車(株)藤沢工場、(株)ヤクルト本社湘南化粧品工場、
ミネベアアミツミ(株)藤沢工場

事務局：〒251-8601 藤沢市朝日町1-1 藤沢市役所みどり保全課
TEL.0466-25-1111 (内線4353) FAX.0466-50-8421
E-mail:fj1-midori@city.fujisawa.lg.jp

ホームページURL：<http://www.city.fujisawa.ne.jp/~f-kohjo/index.html>

緑光

検索

この用紙は再生紙を使用しております。